



東京部会(第17回)

日時: 2008年11月13日(木)19:00-21:00

場所: 日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室

参加者: 篠原(同志社大)、加藤(日大)、大倉(文科省国立教育政策研)、小島(神戸夙川大)、
 新井(都立西高)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、鈴木(日本経済教育センター)、
 金子(神奈川県立三浦臨海高校) [順不同]

【内容要旨】

1. 福井ワークショップの内容について

11/29に福井で開かれるワークショップの内容について検討した。

(1)まず、篠原先生の講演で企業を中心にとらえるという考え方を説明し、その後、小島先生が企業を中学で教えるときのポイントを説明することになった。

(2)小島先生から企業の役割を以下の4点に絞って説明したいという報告があった。(a)ものをつくる、(b)人を雇う、(c)資金の借り手、(d)納税者としての企業。このうち、生徒にとって(b)が理解しにくいだろうという指摘がなされた。そのため、ご両親が働くところ、として教えてはどうか、という意見が出された。また、サービス業については、小学校では企業として扱っておらず、とくに流通の説明は難しいだろう。

(3)教材については次年度以降の課題とする。

2. 篠原先生から11月に京都・西京中学で行った授業の教材が紹介された。前回紹介された企業の考え方を修正したパワーポイント資料が配布された。

3. 篠原先生から、三島高校で行われた特別授業(現代社会2時間分)のまとめが報告された。野間先生(同志社大学)の教材の紹介、あわせて野間先生作成の教師用利用の手引も配布。

4. 大阪部会における奥田先生による中川公共財モデルの授業への展開が紹介された。次回の東京部会で検討。

(文責: 加藤一誠)

次回開催予定: 1月22日(木)19:00~21:00、日大経済学部3号館4階会議室。

主な議題としては、「公共財モデルの授業への応用、東京ワークショップの報告など」